

石活動報告に對する質問の重なるものを擧げると次の如くである。

和歌山縣聯合會(米田氏)第一の質問として「救農土木事業による地主の土地取上げに對して海草^{海草}地区大會は、これに對し、積極的闘争もやる様に全農總本部に對して要求したりであるが、總本部はこれに對して如何なる處置をとつたか」。第二の質問として、「現在、水平社に加盟してゐる者の六割は、本件へは、その内の幾割かは全農に加盟してゐるのであるが、最近水平社を労働組合へ解消せしめる方針の如きも、闘争の如きも、あるが、これに對して總本部は如何なる方針で進め、今日如何なる考へをもつてゐるか」。

これに對し、前記の如く答へた。

「救農事業に對しては、その當時全國的に機を登して、その方針を示し、三月一日には、これが闘争方針を指令した。これは、杉山代議士を通じて議會内の闘争を試みる積りであつたが、発言権が與へられなかつたので、遂にその儘となつた。三月十日には、内務省に肉つて抗議運動をやつた」。

「水平社に對しては、友誼的立場から、相互に援助し合つて来て居る。水平社内の全農組合員には全農の方針の指導してゐる。解消運動は全國會議に改組しろといつてゐるので、これに吾々が反對すれば却つて水平社の分裂を見るおそれがある様に、彼らから水平社自身が解決するまでは積極的な態度に出ないといふてゐる」。

岡山縣聯合會(入谷氏)「北海道は會議派支持を表明したこと報告であるが、さく處によると、縣聯合會の中にも組合員